

看護学科 カリキュラムマップ (2022年度入学生～)

科目区分	科目名	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	
		看護学を活かして看護実践力が身についている	人間、社会、環境、看護を理解し、適切に捉えるために必要な他の学問の知識が修得できている	人を尊重し、看護に対して倫理的に志向でき対応できる	物事を科学的(自然科学、人文科学)に捉えるための論理、思考ができる	人々と良い関係を持ち、自らも意見を述べながら、物事に協働して柔軟な対応ができる	看護や自らの将来を見通し、今後に向けて創造的に、企画、改革に挑戦していく基礎的能力をもつ	看護が果たす社会貢献の観点から、国際的な視点を含め、広く地域の健康に貢献できる基礎的能力をもつ	
基礎科目	ナゼ教基 ルミ養 基礎	基礎ゼミナールⅠ		△	△	○	◎	○	△
		基礎ゼミナールⅡ		△	△	○	◎	○	△
	人間と生活	倫理学★	△	◎	◎	○	△		
		哲学		◎	△	◎	△		
		心理学概論	○	○		◎			
		人間関係論	△	◎		○	○	△	
		社会学概論	△	○	○	○			△
		社会福祉学☆	△	○	△	○	△		△
		憲法		○	△	○			
		地球の生態学		○		○			
		生命科学の基礎	△	◎		○			
		文化人類学		○	△	○			△
		国語表現法	△	○		○			
		現代芸術論		○		△			
		ボランティア論	△	○	○	△	○	△	◎
東三河の歴史風土と文化		○		△			△		
情報と言語	情報リテラシーⅠ		○	○	○		△		
	情報リテラシーⅡ		○	○	○		△		
	プレゼンテーション技法	○	○	○	○	◎	○		
	英語Ⅰ	△	○		△		○	○	
	英語Ⅱ	△	○		△		○	○	
	英語コミュニケーションⅠ	△	○	△	△	△	○	○	
	英語コミュニケーションⅡ	△	○	△	△	△	○	○	
	英語コミュニケーションⅢ	△	○	△	△	△	○	○	
	ドイツ語入門Ⅰ	△	○		△		○	○	
	ドイツ語入門Ⅱ	△	○		△		○	○	
	中国語入門Ⅰ	△	○		△		○	○	
	中国語入門Ⅱ	△	○		△		○	○	
	看護・医療英語	△	○	△	△		○	○	
人間と健康	スポーツⅠ		○		○	○			
	スポーツⅡ		○		○	○			
	健康科学	△	○	△	○	△			
専門基礎科目	人間の理解	からだの構造と機能Ⅰ	△	◎		○			
		からだの構造と機能Ⅱ	△	◎		○			
		臨床心理学	○	◎	△	○	○		
		社会システムと人間		◎	△	○	△		
	健康の理解	臨床薬理学	△	◎		○			
		臨床栄養学	△	◎		○			
		生化学	△	◎		○			
		病原体と感染	△	◎		○			
		病態と治療の基礎	△	◎		○			
		病態と治療Ⅰ(内科系)	△	◎		○			
		病態と治療Ⅱ(内科系)	△	◎		○			
		病態と治療Ⅲ(外科系)	△	◎		○			
		病態と治療Ⅳ(小児)	△	◎		○			
	病態と治療Ⅴ(産科・婦人科)	△	◎		○				
	病態と治療Ⅵ(精神)	△	◎		○				
環境の理解	公衆衛生学	△	◎		○			△	
	保健医療福祉行政論☆	△	◎		○				
	保健医療統計学Ⅰ☆	△	◎		○				
	保健医療統計学Ⅱ☆	△	◎		◎				
	環境と人間	△	◎		○			△	
専門科目	基礎看護学	看護学原論	○	◎	○	○		△	△
		看護理論概説	◎	○	○	◎	◎	△	○
		看護倫理☆★	◎	◎	◎	○	◎	○	○
		ヘルスアセスメント論★	◎	◎	○	◎		△	△
		基礎看護学方法論Ⅰ	◎	◎	◎	○	◎	△	
		基礎看護学方法論Ⅱ	◎	◎	◎	○	◎	△	
		基礎看護学方法論Ⅲ	◎	◎	○	◎	◎	△	△
		基礎看護学実習Ⅰ	◎	○	◎	△	◎	△	△
		基礎看護学実習Ⅱ	◎	◎	◎	◎	◎	○	△
	在宅看護学	在宅看護学原論Ⅰ☆	△		◎	◎	△		○
		在宅看護学原論Ⅱ☆	△		○	△	△		○
		在宅看護学方法論	○		○	○	○		△
		在宅看護学演習Ⅰ	◎		○	◎	○		△
		在宅看護学演習Ⅱ	◎		○	◎	◎		△
		在宅看護学実習	◎		◎	◎	◎	△	○
成熟期看護学	成熟期看護学原論	△	△	◎	○	○	△	△	
	成熟期看護学方法論Ⅰ	◎	△	◎	○	△		△	
	成熟期看護学方法論Ⅱ	◎	○	◎	◎		△	△	
	成熟期看護学方法論Ⅲ	◎	◎	◎	◎	○		△	
	成熟期看護学演習Ⅰ	◎	△	◎	○	◎		△	
	成熟期看護学演習Ⅱ(慢性期)	◎	◎	○	◎	◎	△	△	
	成熟期看護学演習Ⅲ(終末期)	◎	◎	○	◎	◎	△	△	
	成熟期看護学演習Ⅳ	◎	◎	○	◎	◎	△	△	
	成熟期看護学実習Ⅰ(老年期①)	○	○	◎	△	◎		△	
	成熟期看護学実習Ⅱ(クリティカル)	◎	△	◎	○	◎		△	
	成熟期看護学実習Ⅲ(慢性期①)	◎	◎	◎	◎	◎	○	△	
	成熟期看護学実習Ⅳ(慢性期②)	◎	◎	◎	◎	◎	○	△	
	成熟期看護学実習Ⅴ(周術期)	◎	△	◎	◎	◎		△	
	成熟期看護学実習Ⅵ(老年期②)	◎	◎	◎	◎	◎		△	
	成熟期看護学実習Ⅶ(エンドオブライフ)	◎	◎	◎	◎	◎	○	△	

科目区分	科目名	看護学を活かして看護実践力が身につけている	人間、社会、環境、看護を理解し、適切に捉えるために必要な他の学問の知識が修得できている	人を尊重し、看護に対して倫理的に志向でき対応できる	物事を科学的(自然科学、人文科学)に捉えるための論理、思考ができる	人々と良い関係を持ち、自らも意見を述べながら、物事に協働して柔軟な対応ができる	看護や自らの将来を見通し、今後に向けて創造的に、企画、改革に挑戦していく基礎的能力をもつ	看護が果たす社会貢献の観点から、国際的な視点を含め、広く地域の健康に貢献できる基礎的能力をもつ
看護学	母性看護学	母性看護学原論	○		◎	○	△	○
		母性看護学方法論	○	◎	◎	○	△	△
		母性看護学演習	◎	◎	○	◎	○	△
		母性看護学実習	◎	◎	◎	◎	○	△
	小児看護学	小児看護学原論	○		◎	○	△	○
		小児看護学方法論	◎		○	◎	△	○
		小児看護学演習	◎		○	○	△	○
		小児看護学実習Ⅰ	◎		◎	○	◎	○
		小児看護学実習Ⅱ	◎		◎	◎	◎	○
	精神看護学	精神看護学原論	○	△	◎	○	○	○
		精神看護学方法論	○	△	◎	○	△	○
		精神看護学演習	◎		◎	◎	◎	○
		精神看護学実習	◎	○	◎	◎	◎	○
	看護の統合	看護管理学★	◎	◎	◎	◎	○	◎
		看護教育学	◎	◎	○	○	○	◎
		看護学研究Ⅰ	△	△	◎	◎	○	○
		看護学研究Ⅱ	◎	△	◎	◎	○	◎
		家族看護学☆	△	○	◎	○		○
		災害看護学	◎	◎	◎	◎	○	◎
		国際看護学	◎	◎	◎	◎	○	◎
医療・看護の最前線		○		○	○		◎	
統合実習		◎	△	◎	◎	◎	○	
専門科目(選択コース)	公衆衛生看護学	疫学	△	◎		◎		
		学校保健学	○		○	◎	△	△
		産業保健学	○	△	○	◎		△
		公衆衛生看護学原論	△		◎	◎	△	△
		公衆衛生看護学方法論Ⅰ	○	△	○	◎	△	△
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ	○	△	○	◎	△	△
		公衆衛生看護学演習Ⅰ	◎		○	○	◎	△
		公衆衛生看護学演習Ⅱ	◎		○	○	◎	○
		公衆衛生看護管理論	◎	△	○	◎	△	◎
		公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政)	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校・産業)	◎	◎	◎	◎	◎	○
		助産学	地域母子保健	△		◎	○	○
	助産学原論		○		◎	○	△	△
	助産診断・技術学Ⅰ		◎		○	◎	△	○
	助産診断・技術学Ⅱ		◎	◎	○	◎	△	△
	助産診断・技術学Ⅲ		○	◎	○	○	△	△
	助産診断・技術学Ⅳ		◎		○	○		
	助産技術学		◎	○	◎	○	○	△
	助産管理		◎	○	◎	◎	○	○
	助産学実習Ⅰ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
助産学実習Ⅱ	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
助産学実習Ⅲ	◎	◎	◎	◎	◎	◎		

◎:DPIに強く寄与する ○:DPIに寄与する △:DPIに多少寄与する

☆公衆衛生看護学の読み替え科目

★助産学の読み替え科目